



問 農業政策課 ☎ 内線1512

農業ヘルパー募集

「自然の中で農業の魅力を感じる」

農業ヘルパーは、「人手が足りていない農家さん」と「農業に携わる仕事をしたい方」をつなぎ、市の農業の活性化を目的とする事業です。牛久の自然に囲まれながら、【農】のプロフェッショナルのもとで働いてみませんか？雇用条件や作業内容は農家さんによってさまざまです。

あり、ひと月単位や朝の数時間だけ募集している農家さんもあるため、ご自身に合った条件で働くことができます。ベテランヘルパーさんの中には、農家さんと意気投合し、10年以上継続して働いている方もいます。ぜひ牛久の農業を縁の下から支えてください！



農業ヘルパーを行うための手順

- ① 農業政策課にて農業ヘルパーに登録
- ② 市で管理する登録農家さんの台帳を閲覧（条件のあう相手を探す）
- ③ 登録農家さんと直接交渉
- ④ 賃金や時間帯など条件が一致すれば契約
- ⑤ ヘルパー開始！

ヘルパーを
必要としている
農家さんも
募集中です！

農業に興味のある
牛久市民の方なら
どなたでもOK
(年齢、経験不問)



◀ 詳細は市ホームページへ

地域包括支援センターだより さすエール Vol.33

地域包括支援センターでは、高齢者の皆さんの介護予防を中心に介護や健康に関する相談、権利擁護、自立した生活ができるよう地域との連携・協力体制を支える等の面からサポートします。



《事例紹介》一人暮らしのAさん(70代女性)のケース

Aさんは最近夫が亡くなり、一人暮らしとなった。県外にいる子どもや孫たちとはなかなか会えていない。以前は夫といろいろなところに外出することが好きだったが、一人となり、生活にも張り合いがなくなってしまった。



Aさんは、地域包括支援センターに「一人暮らしになり、話し相手がおらず、時間を持て余している。以前のようにいろいろな人と交流する場に行きたい」と相談。日常生活全般は自立しているため、地域包括支援センターでは、介護予防事業として「うしくかっぱ体操」と「シルバーリハビリ体操」を紹介した。

相談後、Aさんは自宅近くの区民会館で行われている「うしくかっぱ体操」と「シルバーリハビリ体操」に参加するようになった。後日、本人に利用状況を確認したところ、他の参加者と交流しながら運動や外出の機会が得られており、今後も継続して利用したいとの話があった。



市では要介護状態になることをできる限り防ぎ、住みなれたまちで可能な限り自立した生活を送ることを目的として介護予防事業を行っています。ご興味がある方は地域包括支援センターまでご相談ください。

ご相談はこちら ▶ 牛久市地域包括支援センター ☎ 878-5050、牛久市地域包括支援センター博慈園 ☎ 871-5110